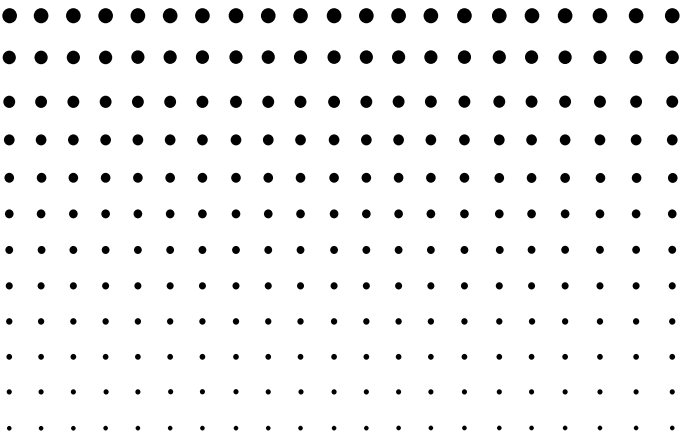




HR-170TM

取扱説明書

保証書付



ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、
正しくお使いください。
本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。なお、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

危険

電池について



電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。

2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

警告

煙、臭い、発熱などの異常について



煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。

2. プラグをコンセントから抜く。

3. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

警告

AC アダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。



- ・必ず専用品を使用する



- ・電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する

- ・1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

AC アダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。



- ・重いものを乗せたり、加熱しない

- ・加工したり、無理に曲げない

- ・ねじったり、引っ張ったりしない



- ・電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する

AC アダプターについて



- ・濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。
感電の原因となります。

- ・ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。

- ・ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

AC アダプターについて



外出時は、動物・ペットが本機に近づかないようにして、電源コード／ACアダプターはコンセントから抜いてください。電源コード／ACアダプターに噛みついた場合、ショート（短絡）により、火災や感電の原因となります。

電池の液もれについて



本機内で電池が液もれしたまま使用すると、火災・感電の原因となりますので、ただちに本機の使用をやめてお買い上げの販売店、または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡してください。

警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。



- ・ 分解しない、ショートさせない
- ・ 加熱しない、火の中に投入しない
- ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- ・ 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- ・ 充電しない



- ・ 極性(+と-の向き)に注意して正しく入れる

火中に投入しない



本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

水、液体、異物はさける



水、スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

分解・改造しない



本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご依頼ください。

落とさない、ぶつけない



本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

袋をかぶらない、飲み込まない



本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。

特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

注意

AC アダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。



- ・ ストーブ等の熱器具に近づけない

- ・ プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ずプラグを持って抜く）



- ・ プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

- ・ 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く

- ・ 使用後は本体の電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く

- ・ プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にはほこりがたまらないように清掃する

- ・ ACアダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。



- ・ 本機で指定されている電池以外は使用しない



- ・ 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく

不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

置き場所について



本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほこりの多い場所

- ・ 調理台のそばなど油煙が当たるような場所

- ・ 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

重いものを置かない



本機の上に重いものを置かないでください。

バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

注意

表示画面について



- ・ 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- ・ 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- ・ 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

大切なデータは控えをとる



本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

テレビ・ラジオのそばのご使用について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

はじめに

本機は実務計算に便利な加算器方式のプリンター電卓です。

以下のような特長があります。

- 整数部 3 桁区切りシンボル付きの見やすい表示窓を採用しています。
- 正の数、負の数が一目でわかるように正負別に印字の色を変更しています。
- 中間計・合計・総合計が求められる優れた合計計算機能を備えています。
- 割増し、売価設定などが簡単に求められるパーセント計算ができます。
- アドモード計算(小数第 2 位指定計算)ができます。
- 通貨換算、税金計算、原価・売価・利益計算ができます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、各機能を十分ご理解の上、正しくお取扱いただきますようお願いいたします。

目次

安全上のご注意	1
はじめに	6
ご使用上の注意	8
電源について	9
ロールペーパーをセットするには	12
インクローラーを交換するには	13
1 各部の名称	13
2 計算のしかた	15
2-1 加減算	15
2-2 IT 機能	17
2-3 乗除算	19
2-4 乗除算結果の合計と総合計	21
2-5 定数計算(同じ数を使った乗除算)	23
2-6 独立メモリーを使う計算	25
2-7 パーセント計算	27
2-8 実務計算	29
2-9 通貨換算	32
2-10 税金計算	34
2-11 原価・売価・利益計算	35
2-12 ノンアドプリント	36
3 エラーと訂正	36
3-1 エラーチェック	36
3-2 訂正	37
4 仕様	39
保証・アフターサービスについて	40
カシオ保証書	巻末
保証規定	巻末

ご使用上の注意

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本機使用や故障により生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご使用上の注意

本機は精密な電子部品を使用しています。末長くご愛用いただくために、下記の注意をよくお読みの上、ご使用ください。

- **分解・衝撃** 本機は精密な電子部品で構成されています。絶対に分解しないでください。また、投げたり落したりなどの強いショックを与えないようにしてください。
液晶部分やケースの破損、または電子回路の故障の原因になります。
- **設置場所** 直射日光が長時間当たる場所や、暖房機器の近くなど極端に温度が高くなる場所には置かないでください。また、湿気やホコリの多い場所は避けてください。ケースの変色や変形、または電子回路の故障の原因になります。
さらに低温の場所で使用すると、表示の応答速度が遅くなったり、点灯しなくなることがあります。その場合、通常の温度になると正常に戻ります。
- **電源(DC 電源)** 本機が正常に使用できても、2年に1度は必ず電池を交換してください。また、本機を長時間ご使用にならないときは、電池を抜き取っておいてください。なお、寿命の切れた電池は本体に悪影響を与えますので、速やかに交換してください。
- **電源(AC 電源)** 1つのコンセントにいくつもの事務機器などをつなぐ、いわゆるタコ足配線は避けてください。火災などの原因になり、危険です。また、AC アダプターはコンセントに確実に差し込んでください。
- **お手入れは** 本機の汚れは、シリコンクロスなど柔らかい布でお拭きください。特に汚れがひどいときは、中性洗剤液に浸した布を固くしぼってお拭きください。
なお、シンナー・ベンジンなどの揮発性溶剤は、使用しないでください。ケースの変色または変質の原因になります。
- **ロールペーパーや
インクローラーの
交換** ロールペーパーやインクローラーを交換される際は、最寄りの当社製品販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」で本機の仕様に合った製品をご購入ください。

■ 大切なデータは控えを取っておいてください

電池が消耗したり、ACアダプターの電源コードをコンセントから抜くと(AC電源が供給されなくなると)、本機に記憶されている数値や設定はすべて消去されてしまいます。

大切な数値や設定は別途ノートなどに書き写してください。

■ リセットボタン

正常な計算ができなくなったときは、本機の裏側にあるリセットボタンを押してください。

リセットボタンを押すと、本機に記憶されている数値や設定はすべて消去されてしまいます。

大切な数値や設定は別途ノートなどに書き写してください。



■ バッファレジスターとブラインドタッチオペレーション

すばやい操作にも計算機が対応できるように<バッファレジスター>を15キー分備えています。このバッファレジスターは、数値だけでなく、命令キーも記憶していますので、計算・印字中でも、次の数値や命令をキーインすることができます。また、置数キーの **5** の中央に凸部がありますので、**5** をガイドキーとして<ブラインドタッチオペレーション>をすることができます。

電源について

本機の電源には、以下の2種類があります。

- a. DC 電源 単3形乾電池を4本使用します。
- b. AC 電源 別売の専用ACアダプター< AD-A60024 >を接続します。

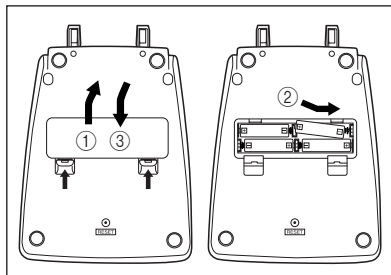
《電池交換のしかた》

以下のような状態になった場合は、電池を交換してください。

- a. 表示が薄くて見にくくなった場合。
- b. プリントスピードが遅くなった場合。
- c. 機能セクターを「PRINT」に設定しているにもかかわらず、誤印字やプリンターの異常が発生した場合。

電池交換のしかたは、次のとおりです。

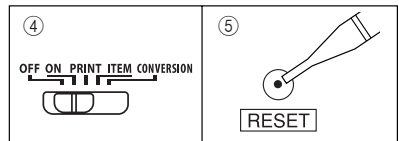
- ① 電源をOFFにします。
本体裏側の電池フタのOPEN部分を指で押しながらはずします。
- ② 古い乾電池を取りはずします。
⊕ ⊖ に注意して、新しい乾電池を入れます。
- ③ 電池フタを閉じます。



④ 電源を ON にします。

⑤ RESET ボタンを押します。

- ・ 電池は 4 本とも同時に交換してください。
- ・ 電池の液もれによる故障を防ぐために、2 年に 1 度は必ず電池を交換してください。



⚠ 危険

電池について



電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
 2. ただちに医師の治療を受ける。
- そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。



- ・ 分解しない、ショートさせない
- ・ 加熱しない、火の中に投入しない
- ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- ・ 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- ・ 充電しない



- ・ 極性 (+ と - の向き) に注意して正しく入れる

⚠ 注意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。



- ・ 本機で指定されている電池以外は使用しない



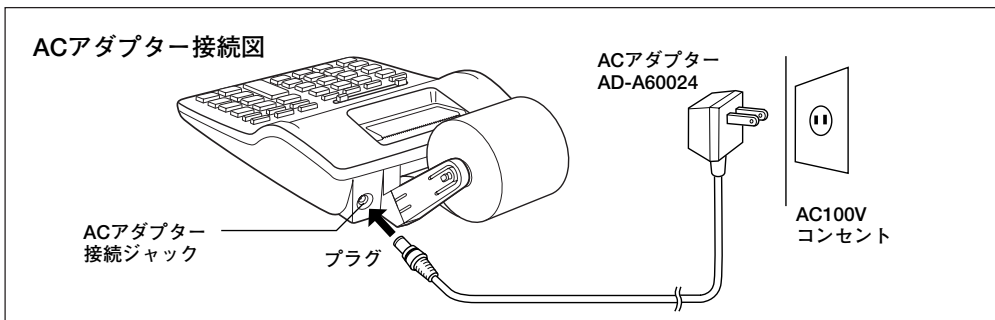
- ・ 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

《AC アダプターの使いかた》

電源をOFF にしてから、別売のAC アダプターを図のように接続しますと、家庭用電源(AC100V)で本機を使用することができます。その際、電池側の電源は自動的にOFF になります。

※ ACアダプター接続後は、必ず以下の操作を行ってください。

- ① 電源をON にします。
- ② リセットボタンを押します。



⚠ 警告

AC アダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。



- ・必ず専用品を使用する
- ・電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- ・1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない



AC アダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。



- ・重いものを乗せたり、加熱しない
- ・加工したり、無理に曲げない
- ・ねじったり、引っ張ったりしない



- ・電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する

AC アダプターについて



- ・濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。感電の原因となります。
- ・ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となることがあります。
- ・ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

AC アダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。



・ストーブ等の熱器具に近づけない



・プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない(必ずプラグを持って抜く)

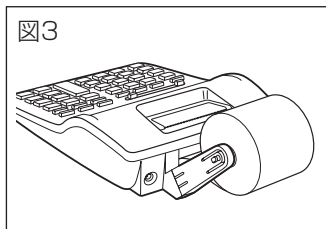
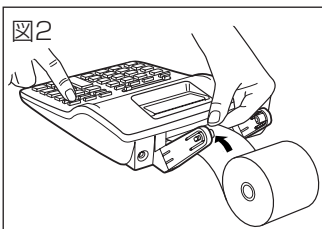
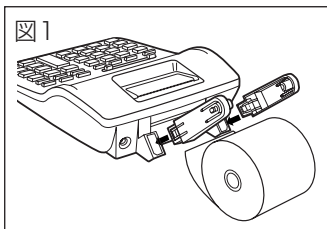
・プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

・旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く

・プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように清掃する

● ロールペーパーをセットするには

1. 本機後面のロールアーム取り付け口に付属のロールアームを差し込み、“パチン”と音がするまで押し込みます(図1)。
2. ロールペーパーの先端をきれいに切り、ペーパーの先端が計算機の下から手前に向かって出るように置きます(図1)。
3. 電源を ON にして、ペーパーをロールペーパー挿入口へ深く差し込みます(図2)。
4. ペーパーの先端がペーパーカッター部より2～3cm出るまで **FEED** キーを押します(図2)。
5. ロールペーパーをロールアームに取り付けます(図3)。



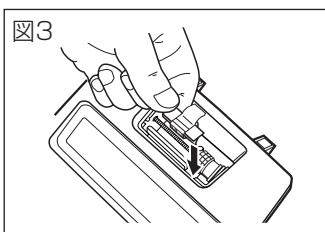
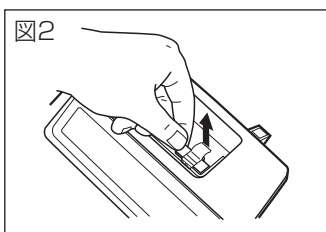
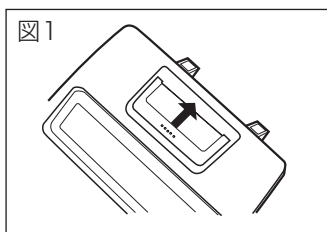
ご注意:

ロールペーパーをセットするときや進めるときは、必ず **FEED** キーを押してください。手で無理に引っ張ると、故障の原因となります。

インクローラーを交換するには

印字が薄くて見にくくなったときは、以下の手順でインクローラー< IR-40T >を交換してください。

1. ➡ 方向にスライドさせて、プリンターカバーを取りはずします(図 1)。
2. 古くなったインクローラーのノブを上に取り上げて取りはずします(図 2)。
3. 新しいインクローラーを所定の位置に差し込みます(図 3)。
4. インクローラーが確実に取り付けられたことを確認してから、プリンターカバーを元に戻します。



(重要)

- インクローラーに筆記用インクや印刷用インクなどを注入して使用しないでください。プリンター部を破損してしまう恐れがあります。
- インクローラーは、必ず指定のインクローラー< IR-40T >と交換してください。

1 各部の名称

■コントロールスイッチ

OFF ON PRINT ITEM CONVERSION



機能セクター

- **OFF** : 電源が OFF になります。
- **ON** : 電源が ON になります。印字を必要とせず、表示のみで計算したいとき、ここに設定します。ただし を押すことにより、表示数値を印字することができます。
- **PRINT** : 操作内容をすべて印字します。通常の計算で印字が必要なとき、ここに設定します。ここに設定すると通貨換算はできません。
- **ITEM** : 操作内容と加減を行った回数(アイテムカウント)を同時に印字したいとき、ここに設定します。ここに設定すると通貨換算はできません。
 - または を押すと、合計または中間結果とともに と を押した加減回数が3桁印字されます。
 - を押すと、総合計とともに を押した回数が3桁印字されます。
- **CONVERSION**: 操作内容をすべて印字します。通常の計算で印字が必要なとき、ここに設定します。ここに設定すると独立メモリーを使う計算はできません。



ラウンドセクター

小数部(端数)の処理のしかたを指定します。

● **F** : 小数部を処理せず、そのまま答えを求めます(浮動小数点)。


● **3、2、0**……

答えの小数位を指定します。指定した数の下1桁(2であれば3桁)が「四捨五入」されます。


● **ADD₂**

アドモード計算(小数第2位指定計算)を指定します。ドル計算などを行うとき便利です。

「**ADD₂**」に設定すると、加減算を行うとき  を押さなくても、置数の下2桁目に自動的に小数点が現れます。

ただし、 キーを押した場合は、その小数点の位置が優先されます。


フィードキー(12ページ)

 オールペーパーを送ります。


■命令キー

 サブトータル／ノンアドプリントキー


(15ページ／36ページ)

 トータルキー(15ページ)

 グランドトータルキー(15ページ)

 アイテムキー／アベレージキー


(17ページ／18ページ)

 桁下げキー(37ページ)


 サインチェンジキー(16ページ)


SET  パーセントキー／セットキー


(27ページ／32ページ)


 マークアップ／マークダウンキー(29ページ)


 クリアーキー


 クリアーオールキー

 **TAX+** 税込みキー(34ページ)

 **TAX-** 税抜きキー(34ページ)

 **COST** 原価キー(35ページ)

 **SELL** 売価キー(35ページ)

 **MAR** 利益キー(35ページ)

 **M+** C3 メモリープラスキー／通貨換算キー


(25ページ／32ページ)

 **M-** C2 メモリーマイナスキー／通貨換算キー

(25ページ／32ページ)

 **M** C1 メモリーリコールキー／通貨換算キー

(25ページ／32ページ)

 **Mx** \$ メモリーリコールクリアーキー／ドルキー

(25ページ／32ページ)

② 計算のしかた

2-1 加減算

CA 数値入力 $\frac{\square}{\square}$ (\square) 数値入力 $\frac{\square}{\square}$ (\square) \times 合計を算出
CA 数値入力 $\frac{\square}{\square}$ (\square) 数値入力 $\frac{\square}{\square}$ (\square) \times 合計を算出
GX 総合計を算出

- 加減算を行う場合は、はじめに必ず CA キーを押してください。
- $\frac{\square}{\square}$ キーを加減算の途中で押すと、その時点での中間計がプリントされます。
- \times キーを押すと答え(合計)をプリントし、答えを総合計メモリーに加えます。同時に答えを自動クリアーするので、次の計算をする前に CA キーを押す必要はありません。
- GX を押すと総合計が求められます。同時に総合計メモリーは自動クリアーされます。
- $\frac{\square}{\square}$ 、 \times 、GX の各キーを押して求められた計算結果を被乗数、被除数、定数として、続けて乗除算(\times / \div)ができます。

例 1 小数を含む加減算

例題	操作	プリント	表示
機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：2			
3.214 56.769 +) 987.4 ----- 1047.383	CA 3 $\frac{\square}{\square}$ 214 $\frac{\square}{\square}$ 56 $\frac{\square}{\square}$ 769 $\frac{\square}{\square}$ 987 $\frac{\square}{\square}$ 4 $\frac{\square}{\square}$ *	<div>.....</div> <div>••0••</div> <div>3•21 +</div> <div>56•77 +</div> <div>987•40 +</div> <div>1,047•38 *</div>	0. 3.21 59.98 1'047.38 1'047.38

例 2 中間計・合計・総合計

ラウンドセクター：F

機能セクター：PRINT

機能セクター：ITEM

125	CA	..0..	0.
365			
-214		125. +	125.
(276) (中間計)	125	365. +	490.
654	365	214. -	276.
930 (合計)	214	276. ◇	003.....
	0%		276. ◇ 276.
654	654	654. +	004.....
	*	930. *	930. * 930.
563	563	563. +	
258	258	258. +	563. + 563.
-452	452	-452. +	258. + 821.
(369) (中間計)	452	369. ◇	-452. + 369.
741	741	741. +	003.....
1110 (合計)	741	1,110. *	369. ◇ 369.
2040 (総合計)	*	2,040.	741. + 1,110.
	CA *	004.....
			1,110. * 1,110.
			002.....
			2,040. 2,040.
		 *

例 3 アドモード計算

- アドモード計算はドル計算をするときなどに便利です。
- 小数位セクターをADD₂に設定すると加減算を行うときに \square を押さなくても、置数の下2桁目に自動的に小数点が現れます。
- 数値入力中に \square キーを押した場合は、キーを押したときに入力される小数点が優先されます。
- ラウンドセクターが「F」の位置にある場合、アドモード計算はできません。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：ADD₂

123.45	CA	..0..	0.
-) 8.52			
41.00	12345	123.45 +	123.45
155.93	852	8.52 -	114.93
155.93 × 10 =	41	41.00 +	155.93
1559.30	10	155.93 ×	155.93
	10	10. =	
		1,559.30 +	1,559.30

例 4 リピート加減算

同じ数値を続けて加算または減算したいときは、必要な回数だけ $\boxed{+}$ または $\boxed{-}$ を押してください。
以下は、数量と金額を同時に計算している例です。

機能セクター：ITEM、ラウンドセクター：F

伝票番号 1

数量	単価	金額
2	300 円	600 円
1	480	480

伝票番号 2

数量	単価	金額
1	250 円	250 円
3	400	1,200

数量合計：7

金額合計：2,530 円

CA
3 $\boxed{00}$ $\boxed{+}$
 $\boxed{+}$
480 $\boxed{+}$
250 $\boxed{+}$
4 $\boxed{00}$ $\boxed{+}$
 $\boxed{+}$
 $\boxed{+}$
 $\boxed{+}$
 $\boxed{*}$

••0••
300• +
300• +
480• +
250• +
400• +
400• +
400• +
007•.....
2,530• *

0.
300.
600.
1'080.
1'330.
1'730.
2'130.
2'530.
2'530.

2-2 IT 機能

\boxed{AVG} キーを使って、加減算の回数(アイテム数)や平均値の印刷を行うことができます。
加減算の回数(アイテム数)はアイテムカウンターで数えられています。

例 1 アイテム数の印刷

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

100
-120
100
80 (合計)ーアイテム数3

250
-150
100
180 (合計)ーアイテム数5

CA
1 $\boxed{00}$ $\boxed{+}$
120 $\boxed{-}$
1 $\boxed{00}$ $\boxed{+}$
 \boxed{AVG}
250 $\boxed{+}$
150 $\boxed{-}$
 \boxed{AVG}

••0••
100• +
120• -
100• +
003•.....
250• +
150• -
005•.....

0.
100.
-20.
80.
003
330.
180.
005

アイテム数は画面の左側に表示されます。

- $\boxed{*}$ を押した後、次の加算／減算を行うとアイテムカウンターは 001 に戻ります。

例2 平均値の印刷

項目数が印刷されているときに $\frac{\text{AVG}}{\text{TT}}$ を押すと、平均値を印刷できます。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

```

150
220
-100
270 (合計) — アイテム数3
          平均値90
  
```

CA	••0••	0.
150 $\frac{\text{TT}}{\text{TT}}$	150• +	150.
220 $\frac{\text{TT}}{\text{TT}}$	220• +	370.
1 00 $\frac{\text{TT}}{\text{TT}}$	100• -	270.
$\frac{\text{AVG}}{\text{TT}}$	003•.....	003
$\frac{\text{AVG}}{\text{TT}}$	90•	90.

- $\frac{\text{AVG}}{\text{TT}}$ を押すたびに、アイテム数→平均値→アイテム数→平均値→... と印刷を繰り返すことができます。

機能セクター：ITEM、ラウンドセクター：F

CA	••0••	0.
150 $\frac{\text{TT}}{\text{TT}}$	150• +	150.
220 $\frac{\text{TT}}{\text{TT}}$	220• +	370.
1 00 $\frac{\text{TT}}{\text{TT}}$	100• -	270.
*	003•.....	
$\frac{\text{AVG}}{\text{TT}}$	270• *	270.
	90•	90.

- 機能セクターが「ITEM」の位置にあるときは、* を押すと合計(トータル)とともにアイテム数が印刷されます。
- * を押した後に $\frac{\text{AVG}}{\text{TT}}$ を押すと平均値を印刷できます。

例3 アイテム数の設定

数値を入力して $\frac{AVG}{\square}$ を押すと、入力した数値の下3桁を現在のアイテム数に加算します。
 このように数値を加算することでアイテム数をお好みの数にすることができます。

- アイテム数が999を超えると次は000になります。
- 入力した数値が小数の場合は整数の値に切り捨てられてアイテム数に加算されます。

例) 1234 $\frac{AVG}{\square}$ → 234 がアイテム数に加算

1.23 $\frac{AVG}{\square}$ → 1 がアイテム数に加算

- 設定したアイテム数は左側に印刷されます。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

CA	••0••	0.
1234 $\frac{AVG}{\square}$	234•••••••••• +	234.
1.23 $\frac{AVG}{\square}$	001•••••••••• +	1.
$\frac{AVG}{\square}$	235••••••••••	235

2-3 乗除算

数値入力 \square (\div) 数値入力 \square 積(商)を算出

- \square / \div キーはいつでも入力を切り替えられます。最後に押した \square / \div のみが有効となります。
- 乗除算を行う前に \square を押す必要はありません。
- \square の代わりに \square を使って乗除算をするときは、はじめに \square を押してください。
- \square の代わりに \square を押すと、計算結果はマイナスとなります。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：2

12.3 × 36 × 2.54	12 \square 3 \square	12•3 ×	12.3
= 1124.712	36 \square	36• ×	442.8
	2 \square 54 \square	2•54 =	
		1,124•71 +	1,124.71

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：2

789456 ÷ 1200 ÷ (-2.5)	CA	••0••	0.
= -263.152	789456 \div	789,456• ÷	789,456.
	12 \square \div	1,200• ÷	657.88
	2 \square 5 \square	-2•5 =	
		-263•15 +	-263.15

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

$(123 + 456) \times 82$
= 47478

CA	••0••	0.
123	123• +	123.
456	456• +	579.
X	579• ×	579.
82	82• =	
	47'478• +	47'478.

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：3

$\frac{123 \times 456}{236}$
= 237.66101694915.....

123 X	123• ×	123.
456 ÷	456• ÷	56'088.
236	236• =	
	237•661 +	237.661











- ラウンドセクターが「ADD₂」 のとき乗除算をすると、計算結果は小数点第 2 位で切り捨て、切り上げ、または四捨五入されます。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：ADD₂

$(12.45 + 25.36 + 45.78) \div 4.5$
= 18.575555555555.....

CA	••0••	0.
1245	12•45 +	12.45
2536	25•36 +	37.81
4578	45•78 +	83.59
÷	83•59 ÷	83.59
4 5	4•5 =	
	18•58 +	18.58

2-4 乗除算結果の合計と総合計

CA	数値入力  () 数値入力  ()	積(商)を算出	
	数値入力  () 数値入力  ()	積(商)を算出	
			合計を算出
	⋮	⋮	
			総合計を算出

- **[*]**を押すと答え(合計)をプリントし、答えを総合計メモリーに加えます。同時に答えを自動クリアするので、次の計算をする前に **[CA]**を押す必要はありません。
- **[Gx]**を押すと総合計が求められます。同時に総合計メモリーは自動クリアされます。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

$$\begin{array}{r}
 12 \times 45 = 540 \\
 23 \times 56 = 1288 \\
 \hline
 1828 \quad (\text{合計})
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 45 \times 78 = 3510 \\
 -) 14 \times 23 = 322 \\
 \hline
 (3188) \quad (\text{中間計})
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 56 \times 89 = 4984 \\
 \hline
 8172 \quad (\text{合計})
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 10000 \quad (\text{総合計})
 \end{array}$$
[illegible]

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

$(100 \times 5) + 200 = 700$
+) 300
 1000

CA
1 00 ☒ ☐
5 ☐ ☐

2 00 ☐ ☐
3 00 ☐ ☐
☒ *

••0••		0.
100•	×	100.
5•	=	
500•	+	500.
200•	+	700.
300•	+	1'000.
1,000•	*	1'000.

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

伝票番号1

商品	金額
A	480円
B	520
合計	1,000円

CA
480 ☐ ☐
520 ☐ ☐
☒ *

••0••		0.
480•	+	480.
520•	+	1'000.
1,000•	*	1'000.

伝票番号2

商品	金額
C	374円
D	652
合計	1,026円

374 ☐ ☐
652 ☐ ☐
☒ *

374•	+	374.
652•	+	1'026.
1,026•	*	1'026.

伝票番号3

数量	単価	金額
24	32円	768円
21	45	945
	合計	1,713円

24 ☒ ☐
32 ☐ ☐

21 ☒ ☐
45 ☐ ☐

24•	×	24.
32•	=	
768•	+	768.
21•	×	21.
45•	=	
945•	+	945.

金額合計：3,739円

☒ *

☒ *

1,713•	*	1'713.
3,739•		3'739.
.....	*	

2-5 定数計算(同じ数を使った乗除算)

- **[X]** または **[+/-]** キーを続けて2回押すと、表示窓の最上桁に "K" が点灯し、表示の数値が定数としてセットされます。
- 一度定数をセットすると、あとは、《数値 **[+/-]** (**[=]**, **[M+]**, **[M-]**, **[%]**)》で答えが求められます。
- 定数の変更や解除は、新たな操作をするか、**[CA]** キーを押してください。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

(K)	28 [+/-] 35 [X]	28.35 ×		28.35
28.35 × 36 = 1020.6	[X]	28.35 × ×	κ	28.35
28.35 × 25.4 = 720.09		36. =		
28.35 × 65 = 1842.75	36 [+/-]	1,020.6 +	κ	1'020.6
		25.4 =		
	25 [+/-] 4 [+/-]	720.09 +	κ	720.09
		65. =		
	65 [+/-]	1,842.75 +	κ	1'842.75

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：2

(K)	275 [+/-]	275. ÷		275.
365200 ÷ 275 = 1328	[+/-]	275. ÷ ÷	κ	275.
78542 ÷ 275 = 285.607272...		365,200. =		
965874 ÷ 275 = 3512.26909...	3652 [00] [+/-]	1,328.00 +	κ	1'328.00
		78,542. =		
	78542 [+/-]	285.61 +	κ	285.61
		965,874. =		
	965874 [+/-]	3,512.27 +	κ	3'512.27

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

$1.23^2 = 1.5129$
 $1.23^3 = 1.860867$
 $1.23^4 = 2.28886641$

1 \square 23 \boxtimes

\boxtimes

\boxplus

\boxplus

\boxplus

1 • 23	×	
1 • 23	× ×	κ
1 • 23	=	
1 • 5129	+	κ
1 • 5129	=	
1 • 860867	+	κ
1 • 860867	=	
2 • 28886641	+	κ

1.23

1.23

1.5129

1.860867

2.28886641

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

$\frac{1}{4} = 0.25$

4 \boxdiv

\boxdiv

1 \boxplus

\boxplus

\boxplus

4 •	÷	
4 •	÷ ÷	κ
1 •	=	
0 • 25	+	κ
0 • 25	=	
0 • 0625	+	κ
0 • 0625	=	
0 • 015625	+	κ

4.

4.

0.25

0.0625

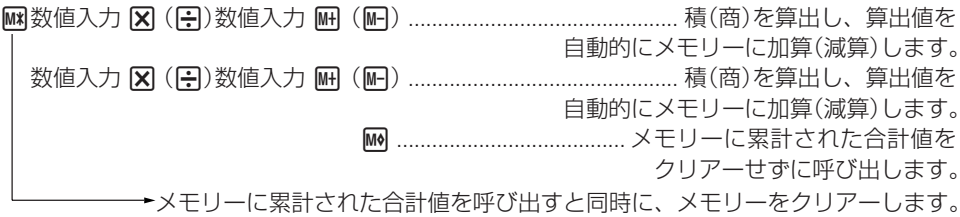
0.015625

$\frac{1}{4^2} = 0.0625$

$\frac{1}{4^3} = 0.015625$

2-6 独立メモリーを使う計算

- 独立メモリーは合計メモリーとは異なったエリアを使うメモリーです。**CA**を押しても、独立メモリーの内容はクリアーされません。
- 独立メモリー内に数値が記憶されているときは、表示窓に"M"が点灯します。
なお、桁オーバーになっても直前に記憶した独立メモリーの内容は保護されています。
- 独立メモリー計算は**MX**を押して、独立メモリーの内容をクリアーしてから始めてください。



例 1 合計計算

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

$$\begin{array}{r} 20 \times 30 = 600 \\ 50 \times 60 = 3,000 \\ -) 40 \times 50 = 2,000 \\ \hline 1,600 \text{ (合計)} \end{array}$$

	MX	0. M*	0.
	CA	..0..	0.
20 X 30 M+		20. × 30. = 600. M+ M	600.
50 X 60 M+		50. × 60. = 3,000. M+ M	3'000.
40 X 50 M-		40. × 50. = 2,000. M- M	2'000.
	M+	1,600. M◇ M	1'600.

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：3

96.3 ÷ 13 = 7.408.....
14.7 ÷ 26 = 0.565.....
85.2 ÷ 47 = 1.813.....
9.786 (合計)

\boxed{MR}	0. M*	0.
\boxed{CA}	..0..	0.
96 $\boxed{\cdot}$ 3 $\boxed{\div}$ 13 $\boxed{M+}$	96.3 ÷ 13. = 7.408 M+ M	7.408
14 $\boxed{\cdot}$ 7 $\boxed{\div}$ 26 $\boxed{M+}$	14.7 ÷ 26. = 0.565 M+ M	0.565
85 $\boxed{\cdot}$ 2 $\boxed{\div}$ 47 $\boxed{M+}$	85.2 ÷ 47. = 1.813 M+ M	1.813
$\boxed{M\Diamond}$	9.786 M \Diamond M	9.786

例 2 定数計算

機能セクター：ON、ラウンドセクター：F

4 × 12 = 48	\boxed{MR} \boxed{CA} 12 $\boxed{\times}$ $\boxed{\times}$ 4 $\boxed{M+}$	$\begin{matrix} \times \\ \times \\ \times \\ \times \end{matrix}$	48.
→ 5 × 12 = 60	5 $\boxed{M-}$		60.
6 × 12 = 72	6 $\boxed{M+}$		72.
60 (合計)	$\boxed{M\Diamond}$	$\begin{matrix} \times \\ \times \\ \times \\ \times \end{matrix}$	60.

2-7 パーセント計算

- a**[X]**b**[%]**で割合が、それに続いて**[=]**または**[=]**を押せば割増しあるいは割引きが求められます。
- a**[÷]**b**[%]**で比率が、それに続いて**[=]**を押せば増減比率(変化率)が求められます。
- **[%]**キーで求められた数値は**[*]**(合計)に加算され、累計を求めることができます。また、パーセントの定数計算をすることができます。
- a**[X]**b**[=]**で売価設定が、a**[÷]**b**[=]**で原価設定が求められます。

例 1 割合、割増し／割引き計算

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

1,500円の26%は？

[CA]	0.00	0.
1500 [X]	1,500. ×	1,500.
26 [%]	26. %	
	390. +	390.

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

3,620円の15%増しは？

[CA]	0.00	0.
3620 [X]	3,620. ×	3,620.
15 [%]	15. %	
	543. +	543.
[=]	4,163. +%	4,163.

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

4,750円の4%引きは？

[CA]	0.00	0.
4750 [X]	4,750. ×	4,750.
4 [%]	4. %	
	190. +	190.
[=]	4,560. -%	4,560.

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

456個は1,230個の何%か？

[CA]	0.00	0.
456 [÷]	456. ÷	456.
1230 [%]	1,230. %	
	37.0731707317 +	37.0731707317

例 2 増減比率の計算

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

141万円は120万円の
何パーセントアップか?

CA	0.00	0.
141 ÷	141. ÷	141.
120 %	120. %	
	117.5 +	117.5
=	21.0	
	17.5 - *	17.5

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

240円は300円の何%引きか?

CA	0.00	0.
240 ÷	240. ÷	240.
300 %	300. %	
	80. +	80.
=	-60.0	
	-20.0 - *	-20.

以下は、定数を使った計算例です。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：2

1590の6%は?
3698の6%は?
2541の6%は?

CA	0.00	0.
6 %	6.0 %	6.
%	6.0 %	6.
1590 %	1,590.0 %	
	95.40 +	95.40
3698 %	3,698.0 %	
	221.88 +	221.88
2541 %	2,541.0 %	
	152.46 +	152.46

例 3 売価設定（マークアップ） および原価設定（マークダウン）の計算

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

売価設定（マークアップ）
仕入れ価格480円の
商品に40%の利益率を
設定する場合の売価と
利益は？

480 $\boxed{\times}$ 40 $\boxed{\text{M}}$

$\boxed{\text{=}}$
(続けて押す)

480	×		480.
40	% M		
320	− %		
800			(売価) 800.
320	− %		(利益) 320.

原価設定(マークダウン)
売価130円で、利益を
原価の4%とすると、
原価と利益は？

130 $\boxed{\div}$ 4 $\boxed{\text{M}}$

$\boxed{\text{=}}$
(続けて押す)

130	÷		130.
4	% M		
5	− %		
125			(原価) 125.
5	− %		(利益) 5.

2-8 実務計算

例 1 百分比計算

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：3

部門	売上金額	構成比
A	47,500円	23.812%
B	129,680	65.009
C	16,400	8.221
D	5,900	2.958
合計	199,480円	100.000%

CA

475 $\boxed{00}$ $\boxed{\div}$ 129680 $\boxed{\div}$ 164 $\boxed{00}$ $\boxed{\div}$ 59 $\boxed{00}$ $\boxed{\div}$ *

$\boxed{\div}$ $\boxed{\div}$

475 $\boxed{00}$ $\boxed{\%}$

129680 $\boxed{\%}$

..0..		0.
47,500	• 000 +	47'500.000
129,680	• 000 +	177'180.000
16,400	• 000 +	193'580.000
5,900	• 000 +	199'480.000
199,480	• 000 *	199'480.000
199,480	• ÷	
199,480	• ÷ ÷ \blacktriangleleft	199'480.
47,500	• %	
23.812	+ \blacktriangleleft	23.812
129,680	• %	
65.009	+ \blacktriangleleft	65.009

164

00%

16,400• %

8,221 +

κ

8.221

59

00%

5,900• %

2,958 +

κ

2.958

*

100,000 *

100.000

例 2 伝票計算

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：0

部門	人数	箱数	単価	金額
A	12	7	450	37,800
B	50	6	75	22,500
C	—	23	630	14,490
合計				74,790
手数料3%				2,243
運賃				1,800
合計請求額				78,833

CA

12

7

450

50

6

75

23

630

74,790

23

630

74,790

74,790

74,790

3

18

78,834

••0••

12• ×

7• ×

450• =

37,800• +

50• ×

6• ×

75• =

22,500• +

23• ×

630• =

14,490• +

74,790• ◇

74,790• ×

3• %

2,244• +

1,800• +

78,834• *

0.

12.

84.

37'800.

50.

300.

22'500.

23.

14'490.

74'790.

2'244.

78'834.

78'834.

例 3 集計計算

機能セクター：ITEM、ラウンドセクター：F

支社	地 区	金額(万円)
東 日 本 支 社	A	3,698
	B	3,456
	C	3,574
	地区合計	10,728
	D	2,478
	E	1,596
	地区合計	4,074
支社合計		14,802

支社	地 区	金額(万円)
西 日 本 支 社	F	2,345
	G	2,589
	H	2,014
	地区合計	6,948
	I	2,468
	J	1,789
	K	2,101
	地区合計	6,358
支社合計		13,306

全国合計	28,108
------	--------

\overline{Mx}		$0 \cdot M^*$	$0.$
\overline{CA}		$\cdot \cdot 0 \cdot \cdot$	
$3698 \begin{smallmatrix} \overline{1} \\ \overline{2} \end{smallmatrix}$		$3,698 \cdot +$	$3'698.$
$3456 \begin{smallmatrix} \overline{1} \\ \overline{2} \end{smallmatrix}$		$3,456 \cdot +$	$7'154.$
$3574 \begin{smallmatrix} \overline{1} \\ \overline{2} \end{smallmatrix}$		$3,574 \cdot +$	$10'728.$
$\begin{smallmatrix} * \\ \overline{1} \end{smallmatrix}$	$003 \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot$	$10,728 \cdot *$	$10'728.$
$2478 \begin{smallmatrix} \overline{1} \\ \overline{2} \end{smallmatrix}$		$2,478 \cdot +$	$2'478.$
$1596 \begin{smallmatrix} \overline{1} \\ \overline{2} \end{smallmatrix}$		$1,596 \cdot +$	$4'074.$
$\begin{smallmatrix} * \\ \overline{1} \end{smallmatrix}$	$002 \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot$	$4,074 \cdot *$	$4'074.$
\overline{GK}	$002 \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot$	$14,802 \cdot$	$14'802.$
	$\cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot$	$*$	
\overline{MH}		$14,802 \cdot M^+$	$14'802.$
$2345 \begin{smallmatrix} \overline{1} \\ \overline{2} \end{smallmatrix}$		$2,345 \cdot +$	$2'345.$
$2589 \begin{smallmatrix} \overline{1} \\ \overline{2} \end{smallmatrix}$		$2,589 \cdot +$	$4'934.$
$2014 \begin{smallmatrix} \overline{1} \\ \overline{2} \end{smallmatrix}$		$2,014 \cdot +$	$6'948.$
$\begin{smallmatrix} * \\ \overline{1} \end{smallmatrix}$	$003 \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot$	$6,948 \cdot *$	$6'948.$
$2468 \begin{smallmatrix} \overline{1} \\ \overline{2} \end{smallmatrix}$		$2,468 \cdot +$	$2'468.$
$1789 \begin{smallmatrix} \overline{1} \\ \overline{2} \end{smallmatrix}$		$1,789 \cdot +$	$4'257.$
$2101 \begin{smallmatrix} \overline{1} \\ \overline{2} \end{smallmatrix}$		$2,101 \cdot +$	$6'358.$
$\begin{smallmatrix} * \\ \overline{1} \end{smallmatrix}$	$003 \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot$	$6,358 \cdot *$	$6'358.$
\overline{GK}	$002 \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot$	$13,306 \cdot$	$13'306.$
	$\cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot$	$*$	
\overline{MH}		$13,306 \cdot M^+$	$13'306.$
\overline{MQ}		$28,108 \cdot M \diamond$	$28'108.$

2-9 通貨換算

米ドルに対応するレート(1ドル=115円など)を設定することができます。レートはC1、C2、C3それぞれのキーに1つずつ設定することができます。通貨換算は設定したレートを使用して行われます。

■ レートを設定する


例 C1 にレートとして 115 (1ドル=115 円) を設定する。



機能セクター：CONVERSION

CA

0.000000

0.

SET  (数秒間押し続けます)

レートを入力した後、C1を押します。 115 C1





#-----

#1-----115.000

0.115.000

● レートについて

- 1) 1 以上の数値をレートとして設定するとき、最大 6 桁の数値をレートとして設定できます。
- 2) 1 未満の数値をレートとして設定するとき、最大 8 桁の数値をレートとして設定できます。ただし、以下のように左から数えて最初の 0 以外の数字からは 6 桁までの数値の設定となります。
例：0.123456 0.0123456 0.0012345

-  を押した後、C1、C2、C3 のいずれかのキーを押すと、それぞれのキーに設定されているレートを確認することができます。
- 電池や AC アダプターによって電源が供給されている限り、メモリー計算機能と通貨換算機能を切り替えても、メモリーに記憶されている数値や通貨換算のレートは消去されることなく保持されています。
- 工場出荷時には以下のレートが設定されています。
C1 1.95583、C2 6.55957、C3 1936.27

■ 通貨換算のしかた

C1 に円、C2 にユーロのレートを設定して、通貨換算してみます。

例 1 1,000 円をドルに換算する


- 1ドル=115円とします。操作の前にレートとして 115 を C1 に設定してください。


機能セクター：CONVERSION、ラウンドセクター：2

CA

0.000000

0.

1 000 C1

\$


1,000. C ÷

#1-----115.000 =

8.70 \$

1'000.

8.70

- もう一回 C1 を押すとドル表示されている金額が円に換算されます。

例 2 100 ドルをユーロに換算する。

- 1 ドル=1.1 ユーロとします。操作の前にレートとして 1.1 を C2 に設定してください。

機能セクター：CONVERSION、ラウンドセクター：2

CA	0.00	0.
1 00 MX \$	100. \$ ×	100.
M- C2	# 2-----1.10000 =	
	110.00 C	110.00

例 3 10 ユーロを円に換算する。

機能セクター：CONVERSION、ラウンドセクター：0

CA	0.00	0.
10 M- C2	10. C ÷	10.
M0 C1	# 2-----1.10000 =	
	9.0909090909 \$ ×	
	# 1-----115.000 =	
	1.045. C	1'045.

- C1 (円)と C2 (ユーロ)など、通貨換算キーに設定した通貨間で換算するときは、いったん共通通貨(ドル)に換算した後、それぞれの通貨に換算します。換算の媒介をする共通通貨(ドル)の小数点以下の桁数を以下のようにして指定できます。

例 4 共通通貨(ドル)の小数点以下の桁数を5桁に指定する。

機能セクター：CONVERSION

CA	0.00	0.
SET <input checked="" type="checkbox"/> (数秒間押し続けます)	#-----	0.
5 MX \$	# 0-----5.	5.

桁数は 3～9 および F を指定できます。

F を指定するときは上の例で 5 の代わりに 0 を入力します。

本機製造時は F が指定されています。

桁数として 3～9 あるいは 0 以外の数値を入力するとエラーが発生します。エラーが発生したときは **C** を押した後、正しい数値を入力し直してください。


2-10 税金計算


■ 税率を設定する

例 税率を 5% に設定する。

機能セクター：PRINT

CA

SET  (数秒間押し続けます)

5 

0.00

#-----

#-----5%T

0.

0.

5.


■ 税計算の例

① 税込み計算

例 税抜き価格が 1,500 円の商品の税込み価格と税額を計算する。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：0

CA

15 00 

0.00

1,500. -T

5%T

税額-----75. T

税込み価格-----1,575. +T

0.


1'575.

② 税抜き計算

例 税込み価格が 1,050 円の商品の税抜き価格と税額を計算する。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：0

CA

1050 

0.00

1,050. +T

5%T

税額-----50. T

税抜き価格-----1,000. -T

0.

1'000.

2-11 原価・売価・利益計算

原価、売価、利益率が簡単に計算できます。

例 1 原価 1,000 円で売価 2,000 円の商品の利益率を計算する。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：0

CA

1000COST

2000SELL

0.00

1000.00

2000.00

50.00M

0.

1000.

(利益率%) 50.

例 2 原価 120 円で利益率 40% の場合の利益金額と売価を計算する。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：0

CA

120COST

40MAR

MAR

SELL

0.00

120.00

40.00M

200.00**

40.00M

80.00MT

0.

120.

200.

(利益金額) 80.

(売価) 200.

例 3 売価 12,000 円で利益率 30% の場合の利益金額と原価を計算する。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：0

CA

12000SELL

30MAR

MAR

COST

0.00

12000.00

30.00M

8400.00

30.00M

3600.00MT

0.

12000.

8400.

(利益金額) 3600.

(原価) 8400.

2-12 ノンアドプリント

日付や管理コード番号など、計算とは無関係な数字をプリントしたい場合は、数字を入力した直後に **[M]** キーを押してください。計算には影響を与えずに数字のみがプリントされます(プリントされる数字には"#"が付きます)。プリントした数値は印刷の区分けやプリントのヘッダーとしてお使いいただけます。

機能セクター：ON

日付：2006年8月17日 2 **[00]** 6 **[.]** 08 **[.]** 17 **[M]**
コード番号：10022 1 **[00]** 22 **[M]**

#2006・08・17.....
#10022.....

2'006.0817
10'022.

③ エラーと訂正

3-1 エラーチェック

計算機が以下のような状態になると、表示部の左端に"E"を表示します(印字中は" _ _ _ _ "を印字します)。また、同時に **[CA]** と **[FEED]** 以外のキーは動かなくなります。

1. 計算途中の数値または答えの整数部が12桁を超えたとき。このとき表示されている数値は、小数点を「1兆の位」とした概算の答えです。
 2. 独立メモリーに数値を記憶させた結果、数値の整数部が12桁を超えたとき。この場合、独立メモリー内には桁オーバーする前の数値が保護されています。
 3. **6** **[÷]** **0** **[=]** のように、除数0の割り算を行ったとき。
 4. 売価設定計算(マークアップ計算)の利益率を100%にしたとき。または、原価設定計算(マークダウン計算)の利益率を-100%にしたとき。
- エラー("E"表示)は、**[CA]** を押すことにより解除されます。
 - 置数のオーバーフローによるエラーは **[C]** または **[▶]** を押しても解除されます。

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

12345678 × 100000
=1234567800000

12345678 **[x]**
1 **[00]** 00 **[=]**

(新たに計算を始めるには) **[CA]**

12'345'678. ×
100'000. =
1・23456780000

..0..

12'345'678.
E=1.23456780000
実際の答えは:
1234567800000
0.

■オーバーフロー時のメモリー保持について

オーバーフローが起きた場合でも、独立メモリーに記憶されていた数値は保持されます。**[CA]** キーを押してエラーを解除した後であれば、**[MR]** キーで再度メモリーの数値を呼び出すことができます。

3-2 訂正

- 数字キーの押しまちがい(置数ミス)
 - a. **C** を押してください。表示が "0." になります。
 - b. **▶** を押してください。押すごとに表示数値の最小桁の数字が消えます。
いずれの場合も、続けて置数し直してください。
- 置数ミスのまま計算命令キーを押してしまったとき
CA を押して、最初から計算をやり直してください。
- 計算命令キーの押しまちがい
 - a. **×**・**÷** は、相互に押すことにより訂正することができます。後から押した計算命令キーに訂正されます。
 - b. **+**・**-** は、同じ数値を加減算することにより訂正することができます。
- **M+**・**M-** の押しまちがい
同じ数値を加減算することにより訂正することができます。

例 1

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

123 × 456 × 78
= 4374864

123**×**
(入力ミス) 447
(訂正) **C**
456**×**
(入力ミス) 789
(誤って入力した最後の桁"9"のみをカット) **▶**
±

123. ×
456. ×
78. =
4,374,864. +

123.
447.
0.
56'088.
789.
78.
4'374'864.

例 2

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

12 + 36 = 48
14 + 25 = 39
87

CA
12**±**
36**±**

14**±**
(入力ミス) 26**±**
(訂正) **±**
25**±**

GA

..0..
12. +
36. +
48. *
14. +
26. -
26. +
25. +
39. *
87.
..... *

0.
12.
48.
48.
14.
-12.
14.
39.
39.
87.

- 37 -

例 3

機能セクター：PRINT、ラウンドセクター：F

$$\begin{array}{r} 12 + 36 = 48 \\ 14 + 25 = 39 \\ \hline 87 \end{array}$$

	••0••	0.
12	12• +	12.
36	36• +	48.
	48• *	48.
14	14• +	14.
26	26• -	-12.
(入力ミス)	-12• *	-12.
(訂正)	-12• -	12.
	12• *	12.
14	14• +	14.
25	25• +	39.
	39• *	39.
	87•	87.
 *	

4 仕様

- 計算機能：** 加減乗除計算、定数乗除計算、割合・割増し・割引き・比率・変化率計算、売価設定・原価設定計算、通貨換算、税金計算、原価・売価・利益計算、リピート加減算、個々の積・商とその合計・総合計計算、加減算の中間計・合計・総合計計算、平均値計算およびアイテムカウント、四捨五入、アドモード計算、その他混合計算
- 計算桁数：** 置数 12 桁、和差積商合計およびメモリーとも 12 桁、アイテムカウント 3 桁 (－999～999)
- メモリー(記憶)：** 加減乗除の合計メモリー 1 組、総合計メモリー 1 組、独立メモリー 1 組
- 小数点方式：** 上位桁優先の浮動(F)、四捨五入(小数点以下 0、2、3 位に指定)、またはアドモード計算方式
- 負数機能：** マイナス符号の表示および印字
- エラーチェック方式：** "E" 記号の表示により演算停止
- 表示方式：** 液晶表示 12 桁、メモリーおよび定数計算中表示、整数部 3 桁区切り表示付き
- 印字方式：** シリアルパラレル方式による正負色別印字
- 印字桁数：** 数値、小数点、3桁区切りシンボル合わせて 17 桁、計算記号 2 桁、最大印字数 19 桁
- その他独自機能：** ノンアド印字、バッファレジスター(15キー分)、答え印字後スペース送り、プリントOFF機能
- ロールペーパー：** 幅57～58mm、外径80mm以内の普通紙
- インクリボン：** 印字色 赤・黒
- 使用温度：** 0°C～40°C
- 電源：** DC…単 3 形乾電池 4 本
AC…専用アダプター(AD-A60024)使用、100V±10V
- 電池寿命：** UM-3 で、555555 を表示したとき約 390 時間、555555 を印字したとき約 3,000 行
R6P(SUM-3)で、555555 を表示したとき約 540 時間、555555 を印字したとき約 7,000 行
本機をご使用にならない場合も、2 年に一度は必ず電池を交換してください。
- 消費電力：** 2 W
- 大きさ・質量：** 幅 165.5 × 奥行き 285 × 高さ 67mm(ロールアーム含む)
520g(電池、ロールアーム含む)
- 付属品：** 単 3 形乾電池 4 本、インクローラー(IR-40T) 1 個、ロールペーパー 1 巻
- 別売品：** 専用 AC アダプター< AD-A60024 >
インクローラー< IR-40T >
ロールペーパー
● < RP-5860-TW > (紙幅 57 ～ 58 外径 60mm)
● 別売品は予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。